

「自治会バスと自治公民館の関わり」



小郡市 美鈴が丘公民館 館長 秋田 宏司

○小郡市の概要

小郡市は、福岡県の中部、筑後平野の北、佐賀県との県境に位置する東西 6 k m、南北 1 2 k m にわたる区域で、総面積は 4 5 . 5 k m² です。

筑後川と宝満川が合流するデルタ地帯に位置し、東北の台地には標高 1 3 0 m の花立山があり、北部にはなだらかな三国丘陵が連なり、ため池が点在しています。また、市の中央部を南北に貫流する宝満川を挟んで、西側に住宅地帯、東側に田園地帯が広がっています。

市内を九州自動車道と大分自動車道の 2 つの高速道路が通り、鉄道は西鉄大牟田線が南北に貫いています。福岡市へは鉄道で 3 0 分の距離にあり、交通の利便性が高く、居住性に優れたまちとして人口も急増しており、人口は平成 2 6 年 1 月 1 日現在で 5 9 , 5 7 4 人です。

市の基幹産業は農業で、米やいちご、洋ラン栽培などが盛んです。観光面では、將軍藤や松崎宿、花立山など四季折々の豊かな自然と豊富な埋蔵文化財など、自然や歴史の資源に恵まれており、七夕の里としても知られています。

小郡市章



小郡市のキャラクター

「おりひめちゃん」
と「ひこぼしくん」



○のぞみが丘小学校区の概要

自治会バス事業を展開しているのぞみが丘小学校区は市内の 6 分の 1 の人口が結集しており、美鈴が丘区と希みが丘区から構成されています。

人口は約 9,292 人、世帯数約 2,704 世帯の地域です。

また、高齢化率は約 5% と比較的若い世代の大型ニュータウンとなっています。

1. 事業名

自治会バスベレッサ号



2. 事業の目的

「自治会バスベレッサ号」は、平成 21 年 9 月に経営赤字を理由に民間路線バスが廃止になったことを受け、地域の力で高齢者を中心とする交通弱者の移動手段を確保する目的で事業を開始した。

3. 事業の実施主体

○自治会バス運行協議会－美鈴が丘・希みが丘両区の住民で組織（のぞみが丘小学校区）
自治会バス運行協議会には、両区の公民館長、区長を始め、他地域住民が参加しており、定期的に自治会バスの運営会議を実施している。



4. 連携、協力機関・団体

①筑紫野ベレッサ（大型商業施設・企業）

のぞみが丘小学校区は筑紫野市と隣接しており、隣接地にある大型商業施設「ベレッサ」より車両（8人乗り1BOX車）を市に寄贈していただいた。

②小郡市（行政）

寄贈された車両を運営協議会へ無償貸与し、公用車両ということで燃料費、保険費用を小郡市が支出している。

○上記のように、住民、行政、企業が互いに連携・協力し補完しあっている。

5. 公民館の関わり

公民館は地域の高齢者が集まることから、民間の路線バスが廃止になった際、地域の交通弱者の声が毎日のように公民館長の耳に入ってきた。

公民館は地域コミュニティの形成及び社会教育の拠点であるが、その根底には、その地域で人が安心して生活できるということが大前提となる。

しかし、交通手段が断たれた状況下では交通弱者がその地域で生活することは困難となる。

このことから、公民館長はじめ公民館活動に関係する人も自治会バス事業の取り組みに大きく参加することになった。

そして現在、公民館と自治会バスの関わりは下記のとおり密接に関わりあっている。

①美鈴が丘・希みが丘公民館の両館長とも運行協議会に加入しており、自治会バスの運営について、直接的に関わっている。

②車両の保管・管理を美鈴が丘公民館で行っている。

③事務局の所在を希みが丘公民館に置き、定例の運営会議も公民館で実施。

④時刻表や自治会バスに関する情報を公民館で広報・周知している。

6. 事業予算

平成24年度決算・25年度予算（単位：円）

収入	24年度決算	25年度予算	備考
助成金	510,000	600,000	美鈴が丘区、のぞみが丘区 のぞみ小校区協働のまちづくり
繰越金	264,994	178,747	前年度繰越金
その他収入	16,062	10,000	預金利子、その他
合計	791,056	788,747	

支 出	24年度決算	25年度予算	備 考
事業費	442,605	550,000	車両維持修理費、運転手謝礼
事務費	169,704	200,000	消耗品費、事務費、会議費等
予備費	0	38,747	
合 計	612,309	788,747	

7. 事業概要

- ・ 利用料金 無料
- ・ 運 行 日 希みが丘ルート（毎週火、木曜日）
美鈴が丘ルート（毎週水、金曜日）
- ・ 運行時間 9：00～13：00 1日4便
- ・ 乗降方式 指定場所での乗降と手上げ方式によるフリー乗降
- ・ 運 転 手 地域のボランティア運転手の皆さん
- ・ 運行車両 小郡市からの無償貸与による1BOX車
- ・ 運行経費 希みが丘区と美鈴が丘区からの助成金（区費）
と小郡市の公費によってまかなわれている。



8. 事業の成果

- ・ 交通弱者の交通手段を確保することができた。
- ・ 住民の地域自治能力の向上
- ・ 地域コミュニティの活性化



9. 課題と展望

（1）課題

- ・ 運転手（地域ボランティアスタッフ）の確保
- ・ 車両の老朽化（買換え予定）
- ・ 地域外市民のバス利用に伴うトラブル

（2）展望

平成24年度からのぞみが丘小学校区に協働のまちづくり準備会が設立され、自治会バス事業もその一翼を担う「自治会バス部会」として、まちづくりに参画している。

今後は、校区内の各種団体とさらに連携・協力し、自治会バス事業の発展はもとよりのぞみが丘小学校区のまちづくり全体が発展できるよう、公民館という立場からまちづくりに参画していきたい。



問合せ先

〒838-0107

小郡市希みが丘5丁目3-1

自治会バス運行協議会事務局

TEL：0942-75-7890

〒838-0198

小郡市小郡255-1

小郡市環境経済部商工・企業立地課

TEL：0942-72-2111(内線142)